

平和体験研修

中学生の平和

体験作文

岡谷市では、8月4日から6日まで、「平和体験研修」として、市内4中学校3年生の代表20名を広島市へ派遣し、平和記念資料館の見学、被爆体験者の講話聴講、平和祈念式典への参列などを行いました。

今回の研修は、新しい時代に生きる生徒たちが、人の命の尊大さを考え、人間がつくり出した最大の悲劇である戦争のまじめさを知り、社会や家庭、学校・学級生活における身近な問題の解決に努めながら、人権の尊重と真の民主主義や平和の在り方を考え、21世紀を「平和の世紀」にする努力を続ける契機にしてほしい、との願いから実施しております。

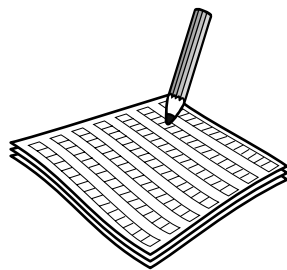
ここに、研修に参加した生徒の体験作文を掲載しますのでお読みいただき、家庭などでの話し合いの参考にしたいだけければありがたいと思います。

広島に行つて感じたこと

岡谷北部中学校 高嶋 達也

僕は8月4日から6日までの三日間、広島平和体験に参加しました。その中で多くのことを考え、学びました。

被爆体験者の寺本貴司さんのお話を聞いて、僕がまず感じたことは、原爆はすごく恐ろしいものだということです。一瞬にして広島の人々や町などを破壊し、後々まで恐ろしい病気を背負っていかねければならなくなってしまうということを知りました。また寺本さんは「平和とはごく身近なこと、些細なことから始



めることが大切だ」ともおっしゃっていました。本、本当にそのとおりだと思いました。

平和体験資料館には、焼け焦げた衣類や焼けただれた皮膚など、生々しい展示物がたくさんありました。原爆とは、こんな恐ろしい被害をもたらすものなのかと、鳥肌が立つほど怖くなりました。その後、全校で折った千羽鶴を「原爆の子」の像に捧げ、原爆で亡くなった人々の冥福を祈りました。

この研修で一番見たいと思っていた原爆ドームもこの目でじっくりと見てきました。原爆ドームは、当時の広島に原爆が落とされた時のことを思わせるような建物で改めて原爆の威力の大きさを感じました。平和祈念式典には、大勢の人が参列していました。式典では、国連事務総長、広島市長、その他にも色々な人のお話を聞きました。

その中で、僕がすごいと感じたのは小学校6年生の二人の「平和への誓い」です。ハキハキと喋っていてとてもすごいと思いました。僕が良いと思った言葉は、「戦争や原爆の恐ろしさと平和の尊さを語り継いでいきます。」という言葉です。

この平和体験学習で、僕は改めて原爆の恐ろしさを知り、平和について世界中の人たちが考え直していく必要があると思いました。原爆の恐ろしさを後々まで伝えて

いく必要があると思いました。そして、寺本さんがおっしゃっていたように、みんなが自分の身の周りの些細な平和から実行していくことが大事なことだと思いました。この平和体験学習は僕にとって、とても意味のある研修でした。

広島へ行つて……

岡谷西部中学校 吹附 綾乃

広島までは、バスに乗ること10時間。本、本当に遠いなと思いました。そして、進むにつれて増してゆく暑さを、肌で感じました。私は、広島戦争と今を比べて、原爆によって残された被害と、どれだけ復旧したかということをテーマに、広島へ向かいました。

広島は、とてもきれいでした。57年前、原爆が落とされたことは、原爆ドームを見なければわからないくらいでした。戦後、70年近く生えないだろうと言われていたらしい木も、青々と茂っていました。

被爆体験者の方のお話をうかがい、資料館を見たりして、当時の様子もよくわかりました。話をしてくださった寺本さんは、原爆ドームもこわしてしまえばいい、資料館もなんであんな物を造るんだ、と思ったそうです。それは、原爆が落とされて全て無くなったあの年を、思い出したくないからです。それも、その



はです。資料館には、たくさんの写真や遺品などがあり、それを生で見るとは怖かったです。被爆体験者の方は、比べものにならないくらい恐い思いをしてきたのです。本当なら、話したくないことなのに、辛うに話してくださった原爆が落とされたときの話を、みんなに伝えなきゃいけないと思いました。

式典は、本当に暑く、すごいセミの鳴き声でした。この暑さに原爆が落とされたのかと思うと、考えるだけで倒れそうでした。今年、新たに四千人以上の人の原爆死没者名簿が奉納されました。まだ苦しんでいる人が、たくさんいるのです。

私は、今回の研修で多くのことを感じました。家に居ても、調べればいろんなことが分かります。しかし、実際に行つて、見て聞くことにより、本当の怖さや寒気を何度も感じました。世界中が平和になることを願ひ、私は自分の周りが平和でいられるよう、毎日を過ごしたいと思いました。

三日間の体験研修

岡谷南部中学校 山田 歩実やまだ あゆみ

私にとって、この三日間は貴重な体験の連続でした。

その中でも原爆平和記念館は、忘れ得ぬ体験となり、その資料は目に焼きついていきます。

数々の遺品の中には、爪や衣服など、見るに耐えないものもたくさんあり、時代の流れとはいえ戦争の無益さを感じずにはいられませんでした。

そして、核があるかぎり、平和が築かれることはない、強く思いました。

話は変わりますが、この間、新聞で核実験による被爆についての記事がありました。そこには、核実験のあとに気分が悪くなるなどの症状が出た人や、きのこ雲を見た人のことが書かれていました。

それを読んだとき、核というものの恐ろしさを思い出して、怖くなったことを覚えています。

三日目の平和祈念式典では、広島市長の「憎しみと暴力、報復の連鎖」という一節が、とても強く印象に残っています。

朝から暑い日ではありましたが、式典に出られたことは、平和について考えるいい機会になったと思います。

広島は、今では焼け野原にな

ったことが信じられないほど、見事に復興していました。しかし、他の都市のようにぎやかさはありません。

むしろ、平和公園などで記念碑に手を合わせている人の方が多かったくらいで、他の地域にはないものを感じました。

今回の研修で、私は平和の尊さについて学んだように思います。だから、それを学校の皆に伝え、また、私自身もさらに平和について考えていこうと思います。

なかなかできない貴重な体験を、どうもありがとうございました。

平和体験研修に参加して

岡谷東部中学校 松村 絵莉まつむら えり

この研修に参加するにあたっての私のテーマは、「ただ見るだけでなく考える」でした。実際に広島へ行つて思ったことは、本当に原爆の被害にあったのか? というくらいすごきれいな街でした。広島の方々がとても努力をしたのだと思います。でも、原爆の被害にあったというの事実で、それを絶対に忘れてはならないし、くり返してはならないと思いました。

実際に原爆を体験した寺本さんの話を聞いたときに、頭の中で絵を想像しながら聞いていたけど、その絵も悲惨なものでした。

また、資料館へ行つて、文章を読んだり、写真や遺品を見たとき、自分の想像をはるかにこえたものばかりで、最初は周りの人と意見を言い合っていたけど、出てくるときには、なにも言わなくなっていました。

そして平和祈念式典に参加して思ったことは、そこにいた方々は本当に平和を願っていると思いました。言いや表情にもその気持ちが表れていました。

今まで、「平和」という言葉を真剣に考えたことがありませんでした。この三日間は、戦争や平和について本気で考えた三日間だったと思います。

そして、これからの私の課題は「身近な平和」です。世界の平和も大事だけれど、その前に身近な生活が平和じゃないと、とても世界が平和になることができないのではないかと思います。

身近なところとして、まず自分のクラスが平和になるようにしていきたいと思っています。クラスでこの研修へ参加することができたのは私だけなので、私が広島で学んだことを伝えて、平和を呼びかけないといけないと思います。いじめや差別がなく、平和なクラスになるようにしっかりと伝える努力をしたいと思います。

住民基本台帳ネットワーク システムが稼動しました

市 民 課
☎ 23-4811
(内線 1151~1154)

■システムの導入により次の
点が便利になります。

①第1次サービス

(平成14年8月5日から)

- 行政機関への各種申請等に係る
住民票添付の省略化

これまで各行政機関に申請・届
出をする際に多くの手続きで住民
票の写しが必要でしたが、今後は
このネットワークを通じて本人確
認が可能となり、住民票の写しの
添付や年金の現況届の証明の手続
き等が徐々に省略され、迅速かつ
正確に行われるようになります。

- (例) 年金・恩給等の支給、児童扶
養手当の支給、建築士の免許等
- ②第2次サービス開始

(平成15年8月から)

- 住民基本台帳カードの交付
市民のみなさんからの申請によ
り発行されます。

- 住民票の写しの広域交付
全国どここの市区町村でも住民票
の写しの交付が受けられるようにな
ります。

●転入、転出の特例処理

カードを利用することにより転
出入の手続きが簡素化され、転入
市町村だけで済みます。また、こ
のカードの空き部分を利用して市
町村独自のサービスを付けること

■個人情報保護対策に万全を
期しています。

もできます。どんなサービスがで
きるのか、今後検討していきます。

○法制度からの対策

- 住民ネットに保有する本人確認
情報は、法律により氏名、生年
月日、性別、住所、住民票コー
ド、これらの変更情報に限定さ
れています。

- 住基ネットから本人確認情報の
提供を行う行政機関、利用事務
は具体的に規定され、目的外の
利用は禁止されています。

- 民間では、住民票コードの利用
は禁止されています。

- 関係する職員に対し安全確保措
置、秘密保持を義務付けており
ます。また、罰則規定も通常よ
り重い罰則が規定され適用とな
ります。

- 住民票コードは、申出により変
更できます。

○技術面からの対策

- ▼外部ネットワークからの不正侵
入、情報漏えい防止のため
- 安全性の高い専用回線でネット
ワーク化されています。

- 通信データは、暗号化されてい
ます。

- コンピュータ同士の相互認証に

- より相手との通信を行います。
- ネットワークへの不正アクセス
防止のため、不正侵入防止装置
や侵入検知装置を設置していま
す。

▼システム操作者の目的外利用の 防止のため

- 操作者用IDカードやパスワード
により厳重確認を行っています。
- ネットワークに蓄積されている
データへの接続制限を行っています。
- 不審な操作パターンの常時監視
を行っています。

▼運用面における情報漏えい防止
対策のため

- 国、県においては、本人確認情
報保護に関する審議会を設置し
ました。

(岡谷市は、従前からの個人情報
保護審議会での対応)

- 県、岡谷市においては、個人情
報保護のため、条例や要綱を制
定しました。

- 国、県、市町村において、緊急
時の対応計画を定め、24時間休
制で個人情報保護に当たって
います。

ご利用ください!「岡谷市役所岡谷駅前出張所」

営業時間は、午前10時～午後7時までです。

4月にオープンしました「岡谷市役所岡谷駅前出張所」は、
毎月第3火曜日および12月29日～1月3日までの年末年始を除
き、毎日営業をしています。

勤務時間等により市役所や支所のご利用ができない方にとっ
ても、ご利用しやすいよう時間延長サービスをしています。

営業の内容は、

- 住民票関係証明書(世帯全員、個人の住民票、住民基本台帳
記載事項の証明)の発行
- 戸籍関係証明書(戸籍の謄抄本、附票)の発行
(ただし、改製原戸籍の除籍の謄抄本は発行できません)
- 印鑑登録証明書の発行
- 個人にかかる税関係の証明書(所得、課税、納税証明、軽自
動車納税証明)の発行
- 戸籍届書の預かり
- 埋火葬許可書の発行
- 市税・水道料・住宅使用料等の預かり(領収書は、担当課よ
り後日送付)

を行っています。

岡谷市中央町一丁目1番1号(ララ・オカヤ1階)
岡谷駅前出張所 ☎ 21-7110・FAX 21-7111

市議会臨時会 開催

条例やイルフスクエア整備事業など 補正予算を可決

○条例改正

▽「岡谷市情報公開条例」を、独立行政法人等の保有する情報公開に関する法律が公布施行されたことに伴い一部改正することを決めました。

▽「岡谷市基金の設置、管理及び処分に関する条例」を生涯学習館・総合福祉センター複合施設建設基金を廃止することに伴い一部改正することを決めました。

○補正予算

▽平成14年度岡谷市一般会計でイルフスクエア整備事業18億5,430万7千円、ふるさとまちづくり基金等積立金など10億4,883万7千円など29億5,414万4千円を追加し、総額238億9,945万3千円とすることを決めました。

第5回岡谷市議会臨時会が、8

月28日（水）に開催されました。

この議会では、一般会計予算などの補正や条例の一部改正などが審議されました。

主な内容をお知らせします。

○専決処分の承認

▽「岡谷市市税条例」を地方税法等の改正に伴い一部改正したことを承認しました。

生涯学習館・総合福祉センター

複合施設建設基金について

市ではこれまで複合館建設のために積み立てを行ってまいりました生涯学習館・総合福祉センター複合施設建設基金を廃止し、ふるさとまちづくり基金に振り替えた上で中央町再開発ビルと諏訪湖ハイツ整備のための財源にすることといたしました。

生涯学習館・総合福祉センター複合施設建設基金にご寄付をいただきましたみなさんに改めてお礼申し上げますとともに、みなさんのご意志は中央町再開発ビルと諏訪湖ハイツの整備に反映してまいりますので、ご理解をお願い申し上げます。

中央町再開発ビルに愛称をつけてください

中央町再開発ビルについては、1・2階は商業施設として既に営業を始めていますが、3・4階は公共施設として生涯学習施設や子育て支援施設を整備し、「賑わいの創出が図れ、魅力ある施設」として、平成15年3月に全館オープンする予定です。そこで、この建物を親しみやすいものにするため、市民のみなさんに愛称をつけて

いただきたいと思います。応募要領は次のとおりですが、市民の出会いの場、ふれあいの場として生まれ変わる施設にふさわしい愛称をお待ちしております。採用された方には記念品を贈呈します。

なお、市ではイルフ童画館や駐車場棟を含めた中央町再開発地区全体の名称を「イルフスクエア」として位置づけていますので、このイメージに合った愛称を考えてください。

募集期間 9月30日まで

応募方法 はがき、FAX、Eメールに住所、氏名、年齢、電話番号と愛称を1つ記入して、市企画課まで応募してください。

応募先 〒394-8510 岡谷市幸町8-1 岡谷市役所企画課

FAX 24-0689

Eメール kk@city.okaya.nagano.jp

※お問い合わせは、市企画課(☎23-4811 内線1523)まで。